

LIBRIDIS

輸入総代理
株式会社日崎

カスタマーサービス / テクニカルサポート
support@hisaki.net

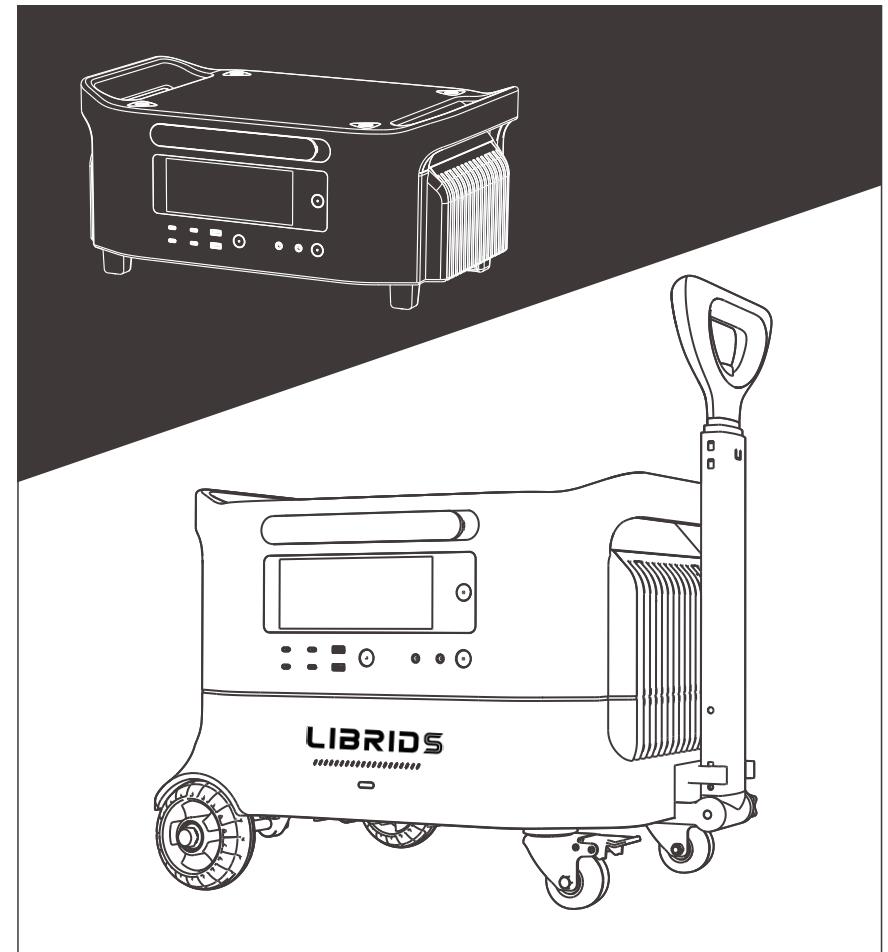
保証について

LIBRIDIS公式ウェブサイトおよびLIBRIDIS正規販売店でご購入いただいたLIBRIDISパワーステーションには、以下に定める保証がついています。

- ① LIBRIDISパワーステーションを使用することで、保証の内容に同意したものとみなされます。
- ② LIBRIDIS公式ウェブサイトおよびLIBRIDIS正規販売店にてご購入いただいた場合、バッテリー及びインバーターの保証は2年となります。

※1 保証期間はご購入日から起算されます

※2 保証は、購入された国に限定され、購入された国外に持ち出された商品には適用されません



ユーザーマニュアル

免責事項

製品を使用する前にこの取扱説明書をよく読み、ご理解の上、正しく使用してください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

本製品の使用方法を誤ると重大な傷害が発生したり、製品の破損や物的損害の原因となることがあります。

本製品をご使用いただいた時点で、本書に記載されているすべての事項を理解、ご了承いただいたものとみなします。

当社は、本ユーザーマニュアルに従わずに本製品を使用したことに起因する損害について、一切の責任を負いません。

本製品・付属品が破損した場合はお客様自身で行わず、当社までご連絡を下さい。

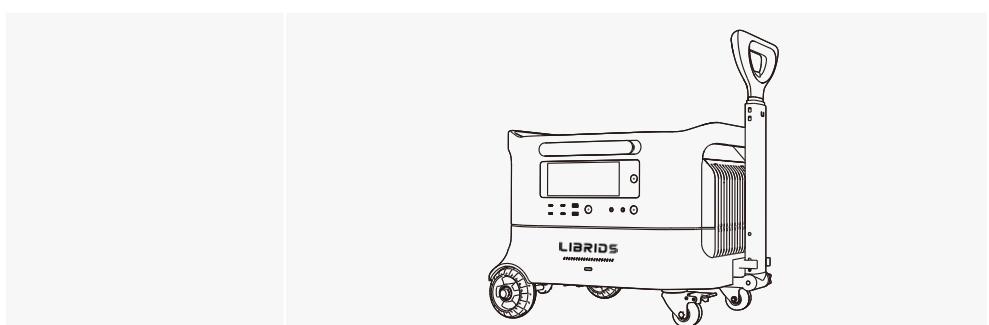
地震、噴火、洪水、津波またはこれらに類似の自然変象による行為、お客様の故意・過失誤用・誤動作その他、常識の範囲を超えた異常な条件の下で使用した事により生じた損害に関して、理由の如何を問わず一切の責任を負いません。

当社は本書および本製品に関連するすべての文書の最終的な著作権を有します。

本書は予告なく変更(更新、改訂、終了)されることがあります。

| | |
|----------------|----|
| 製品仕様 | 01 |
| 安全上のご注意 | 03 |
| 同梱物 | 05 |
| 商品詳細 | 05 |
| 取り外しと取り付け | 09 |
| バッテリーの起動 | 10 |
| バッテリーの充電 | 10 |
| 電源オン／オフ | 12 |
| アプリでバッテリーを制御する | 13 |
| 家電製品への電力供給 | 14 |
| 無停電電源装置(UPS) | 15 |
| ライトバー | 19 |
| よくあるご質問(Q&A) | 20 |
| 保管とメンテナンス | 21 |
| トラブルシューティング | 22 |

製品仕様



| | |
|----------|---------------|
| 製品名 | EnergyCan A2 |
| モデル | H1002 |
| 重量(本体のみ) | 30.4kg |
| サイズ | 357×480×322mm |

出力ポート

| | |
|----------------|--|
| AC 出力 (×4) | 合計 2200W、100-120V (50Hz/60Hz)、最大20A |
| USB-A 出力 (×2) | 5V/2.4A, 9V/2A, 12V/1.5A, 各ポート最大18W、合計36W |
| USB-C 出力 (×4) | 5V/3A, 9V/3A, 12V/3A, 15V/3A 20V/5A, 各ポート最大100W、合計200W |
| シガーソケット出力(×1) | 12V 10A、最大120W |
| DC5521 出力 (×2) | 12V 3A、最大36W |
| XT60 出力 (×1) | 12V 30A、最大360W |

入力ポート

| | |
|--------------|---------------------------------|
| AC 入力電力 (×1) | 100V (50Hz/60Hz)、最大15A、合計1,500W |
| XT60 入力 (×1) | 11-60V、最大20A、最大1000W |

バッテリー

| | |
|---------|------------------|
| バッテリー容量 | 2074Wh, 48V |
| 電池のセル化学 | LFP |
| サイクルライフ | 80%容量まで3,500サイクル |

動作温度

| | |
|------------------|--|
| 最適動作温度 | 20°C~30°C |
| 動作温度 (機器への給電時) | -20°C ~ 45°C *0°C 以下の環境では放電効率は落ちるため、スマート加熱モジュールの使用をお勧め致します(オプション) |
| 動作温度 (本製品の充電時) | 0°C~45°C |
| 保存温度 | 0°C~45°C |

| | | |
|----------|------------------|-----------------|
| モジュール部品 | | |
| | メインベース 2200 | モバイルシャーシ 1000WH |
| 重量(本体のみ) | 16.8kg | 13.7kg |
| サイズ | 480×300×225.3 mm | 480×322×180 mm |

出力ポート

| | | |
|----------------|---|-----|
| AC 出力 (×4) | 100-120V (50Hz/60Hz)、最大20A 合計 2200W | N/A |
| USB-A 出力 (×2) | 5V/2.4A, 9V/2A, 12V/1.5A, 各ポート最大18W、合計36W | N/A |
| USB-C 出力 (×4) | 5V/3A, 9V/3A, 12V/3A, 15V/3A 20V/5A, 各ポート最大100W、合計200W | N/A |
| シガーソケット出力 (x1) | 12V 10A、最大120W | N/A |
| DC5521 出力 (×2) | 12V 3A、最大36W | N/A |
| XT60 出力 (×1) | 12V 30A、最大360W | N/A |

入力ポート

| | | |
|--------------|--|-----|
| AC 入力電力 | 100V (50Hz/60Hz)、 各ポート最大15A、最大1500W | N/A |
| XT60 入力 (×1) | 11-60V、最大20A、最大1000W | N/A |

バッテリー

| | | |
|---------|------------------|-------------|
| バッテリー容量 | 1037Wh, 48V | 1037Wh, 48V |
| 電池のセル化学 | LFP | |
| サイクルライフ | 80%容量まで3,500サイクル | |

動作温度

| | |
|------------------|--|
| 最適動作温度 | 20°C~30°C |
| 動作温度 (機器への給電時) | -20°C ~ 45°C *0°C 以下の環境では放電効率は落ちるため、スマート加熱モジュールの使用をお勧め致します(オプション) |
| 動作温度 (本製品の充電時) | 0°C~45°C |
| 保存温度 | 0°C~45°C |



安全上のご注意



本製品を使用する際は、以下の基本的な注意事項を必ずお守りください。

本製品を使用する際は、以下の基本的な注意事項を必ずお守りください。

1. 製品を使用する前に、必ず取扱説明書をお読みください。
2. 火元や暖房器具などの熱源の近くでは使用しないでください。
3. 製品を水につけたり、濡らしたりしないでください。また雨や湿気の多い場所で使用しないでください。
4. 静電気・磁気の強い環境では使用しないでください。
5. 製品を分解したり、鋭利なもので突き刺したりしないでください。
6. ショートする恐れのある電線や金属物の使用は避けてください。
7. 非公式の部品やアクセサリーは使用しないでください。
8. 部品やアクセサリーを交換する必要がある場合は、以下の手順に従ってください。アクセサリーについては、LIBRIDISオフィシャルサイトで関連情報をご確認ください。
9. 本製品を使用する際は、本取扱説明書に記載されている使用環境温度を厳守してください。温度が高すぎると火災や爆発の原因となり、温度が低すぎると製品の性能が著しく低下したり、製品が動作しなくなることがあります。
10. 製品の上に重量物を積み重ねないでください。
11. 使用中に冷却ファンを無理に止めないでください。
12. ご使用の際は、衝撃、落下、激しい振動を避けてください。外部から強い衝撃を受けた場合は、直ちに電源を切り、使用を中止してください。振動や衝撃を避けるため、輸送中は製品をしっかりと固定してください。
13. 使用中に誤って製品に水をかけてしまった場合は、広く安全な場所に置き、完全に乾くまで本機に触れないでください。乾燥した製品は再度使用せず、下記の「廃棄の手引き」に従って適切に廃棄してください。万一、製品に引火した場合は、水または霧状の水、砂、毛布、粉末消火剤、二酸化炭素消火剤の順に使用することをお勧めします。
14. 製品ポートに付着した汚れは、乾いた布で拭き取ってください。
15. 転倒による破損を避けるため、平らな場所に置いてください。万一、本製品が転倒して大きな損傷を受けた場合は、直ちに電源を切り、バッテリーを開けた場所に置き、可燃物や人の手の届かない場所に保管し、地域の法令に従って廃棄してください。
16. お子様やペットの手の届かない場所に保管してください。
17. 製品は乾燥した換気の良い場所に保管してください。
18. 湿気の多い環境（海辺や水路など）では、製品の浸水を防ぐために防湿袋を使用することをお勧めします。万一、製品内部に水がかってしまった場合は、使用せず、電源を入れないでください。本製品に触れる前に、感電防止対策を行ってください。その後、製品を安全で防水性のある場所に置いてください。完了後、直ちにLIBRIDISカスタマーサービスにご連絡ください。
19. 本製品は、医療用人工呼吸器（病院用CPAP：持続陽圧呼吸器）、人工肺（ECMO：体外式膜人工呼吸器）等、個人の安全に関わる医療用救急機器の電源としては推奨できません。
20. 電源製品を使用すると電磁界が発生し、ペースメーカー、人工内耳、補聴器、除細動器などの医療用インプラントや個人用医療機器の正常な動作に影響を及ぼす可能性があります。このような医療機器をご使用の場合は、メーカーにお問い合わせの上、使用上の制限についてご確認ください。ペースメーカー、人工内耳、補聴器、除細動器などの医療機器と本製品との間に安全な距離を確保するための基本的な措置です。
21. 省エネモードの本製品にACアダプタを接続した場合、電力変動によりACアダプタが自動的に停止することがあります。医薬品やワクチンなどの貴重品を保管する冷蔵庫に電源を接続する場合は、省エネモードをオフにすることをお勧めします。これにより、継続的な電力供給をサポートし、安全で効率的な電力消費を保証します。

注意：誤ったタイプのバッテリーに交換すると、爆発する危険があります。

バッテリーを火や高温のオーブンに捨てたり、機械的に押しつぶしたり切断したりすると、爆発する恐れがあります。

バッテリーを極端な高温環境下に放置すると、爆発や可燃性の液体やガスの漏れを引き起こす可能性があります。

バッテリーを極端な低い空気圧な環境下に放置すると、爆発や可燃性の液体やガスの漏れを引き起こす可能性があります。

警告：アースについて

本製品は必ず平らな場所に設置してください。

誤動作や故障の際、接地することで電流が最も抵抗の少ない経路を確保し、感電の危険性を低減します。

本製品には、機器の接地導体と接地プラグが付いたコードが付属しています。

このプラグは、地域の法令に従って適切に設置され、接地されているコンセントに差し込んでご使用ください。

警告 - 装置の接地導線の接続が不適切な場合、感電の恐れがあります。製品が適切に接地されているかどうか疑わしい場合は、資格のある電気技術者に確認してください。製品に付属のプラグを改造しないでください。コンセントに合わない場合は、資格のある電気技師に適切なコンセントを取付けてもらってください。

保管およびメンテナンスに関して

1. 製品は0°C～45°C(32°F～113°F)の間で保管してください。製品を水に濡らしたり湿度の高い環境で使用しないでください。
2. バッテリーの寿命を保つため、使用後は100%まで充電して下さい。本機を長期保管する場合は3ヶ月ごとに100%まで充電してください。
3. 本製品を資料、充電、保管する際は平らな場所においてください。

廃棄ガイド

1. 廃棄する際は電池が完全に放電されたことを確認してから、指定の電池リサイクルボックスに廃棄してください。本製品には有害な化学物質を含む可能性のある電池が含まれているため、通常のゴミ箱に廃棄することは固く禁じられています。詳しくは、電池のリサイクルと廃棄に関するお住まいの地域の法令をご確認ください。
2. 製品の故障によりバッテリーを完全に放電できない場合、バッテリーをバッテリーリサイクルボックスに直接廃棄しないでください。その場合は、専門のバッテリーリサイクル業者にご相談ください。
3. 充電できない過放電バッテリーは廃棄してください。

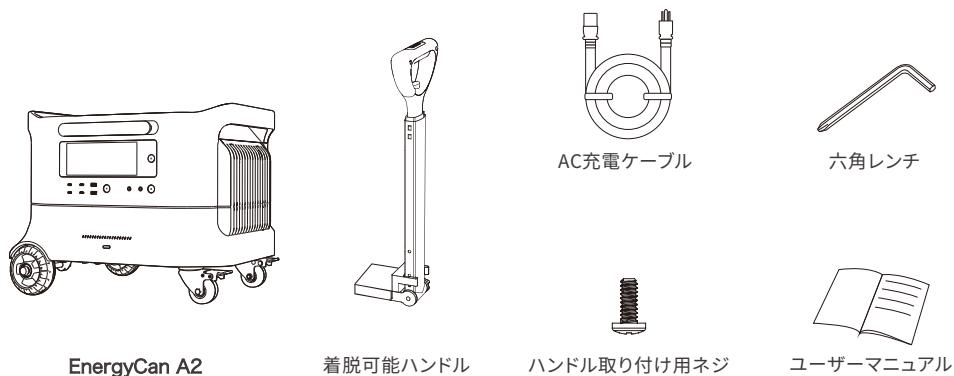
注意



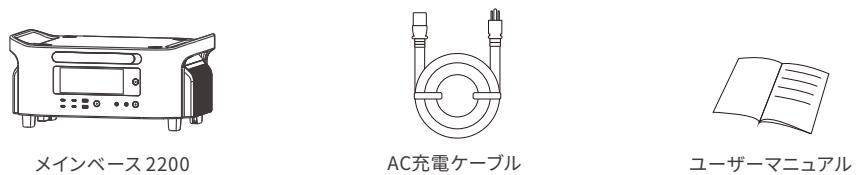
航空機への持ち込みは禁止されています。

同梱物

EnergyCan A2

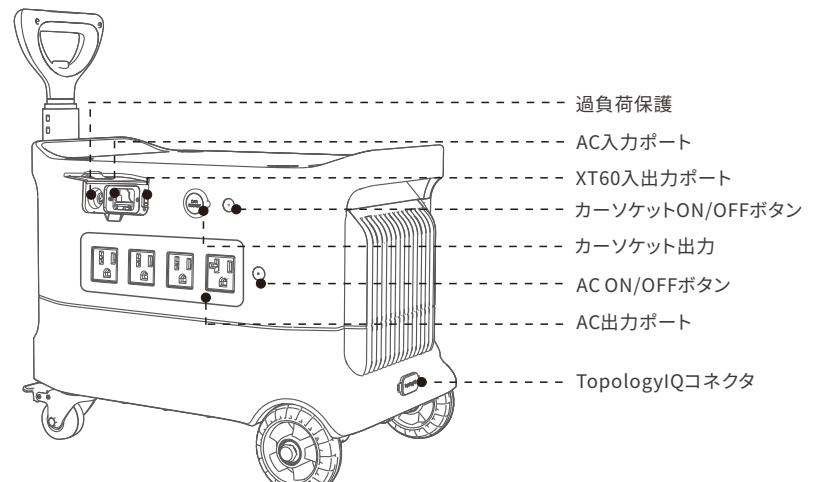
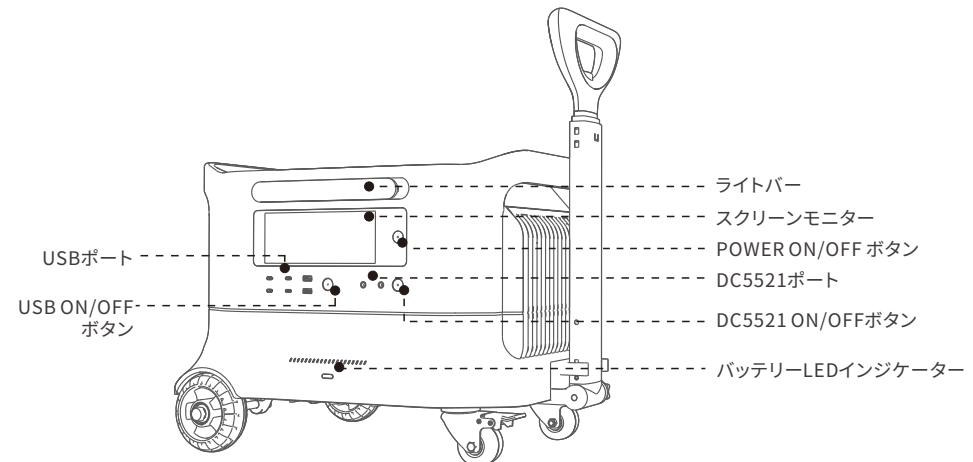
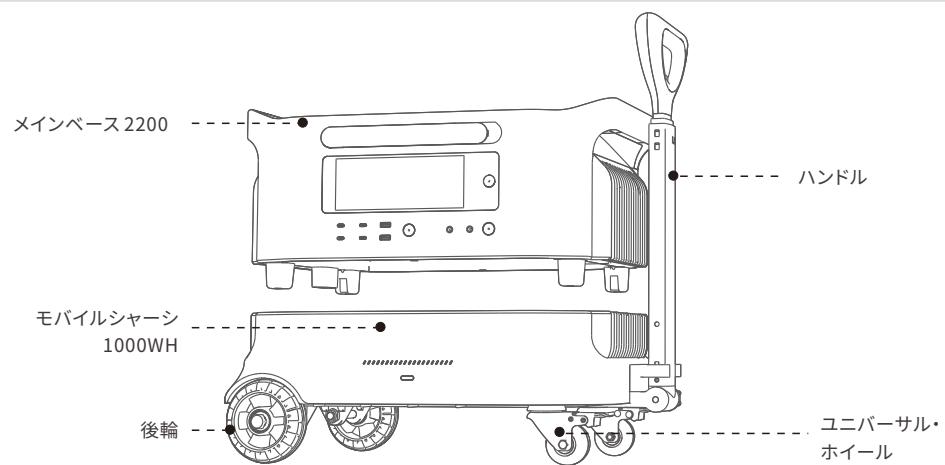


Main Base 2200



商品詳細

概要



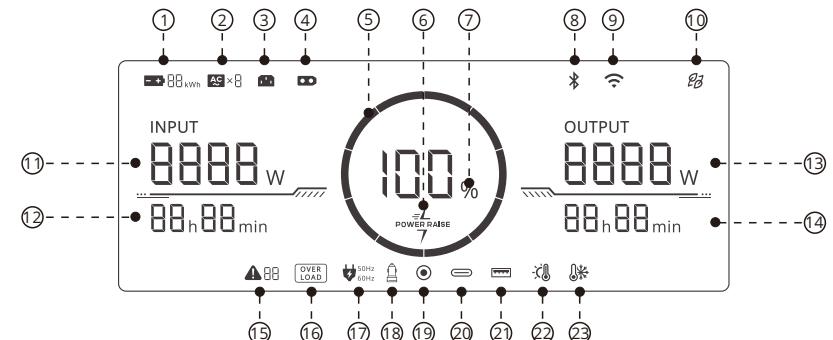
同時ボタンによる各種設定

| 機能 | 組み合わせ | 時間 |
|---------------|------------------------------------|-----|
| 本機のON/OFF | POWER ON/OFF ボタン | 2秒 |
| ファクトリーリセット | POWER ON/OFF ボタン | 15秒 |
| 省エネモードオン/オフ | USB ON/OFF ボタン+DC5521 ON/OFF ボタン | 2秒 |
| チャイルドロックオン/オフ | POWER ON/OFF ボタン+Dc5521 ON/OFF ボタン | 2秒 |
| セットアップモードに入る | DC5521 ON/OFF ボタン | 5秒 |
| 倉庫モードに入る | USB ON/OFF ボタン+DC5521 ON/OFF ボタン | 15秒 |

* 倉庫モードとは、本機の電源が完全にオフになっていることを意味し、デバイスを長期間使用しない場合や工場に返却する場合のみ使用します。

一旦倉庫モードにてしまうと、デバイスを再アクティブ化するには、ACまたはソーラーパネルで充電する必要があります。

LCDスクリーンガイド



1.バッテリー総容量 (kWh)

2.AC出力モジュールの総数

3.AC充電インジケーター

4.XT-60充電/出力インジケーター

5.電池残量インジケーター

6.急速充電インジケーター

7.バッテリー残量15.エラーコード

8.Bluetoothアイコン

9.Wi-Fiアイコン

10.省エネモードインジケーター

11.現在の入力電力電流

12.現在の充電残時間

13.現在の出力電力

14.現在の残り放電時間

15.エラーコード

16.過負荷警告

17.AC 出力インジケーター

18.カーソケット出力インジケーター

19.DC5221出力インジケーター

20.USBC出力インジケーター

21.USB-A出力インジケーター

22.高温警告

23.低温警告



1.省エネモードでは、電力を節約するため、5分間操作しないと自動的に画面がオフになります。

起動するには、電源ボタンを短く押します。

2.エラーコード、過負荷、高温警告、低温警告は、ユニットに異常がある場合にのみ表示されます。

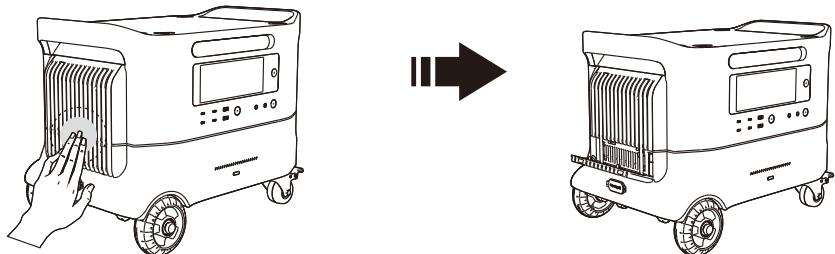
現在の入力電源と出力電源が "LOCK" と点滅している場合は、チャイルドロックモードであることを意味します。チャイルドロックを解除するには、電源ON/OFFボタンとDC52112V 3Aスイッチボタンを同時に2秒間長押しします。

取り外しと取り付け

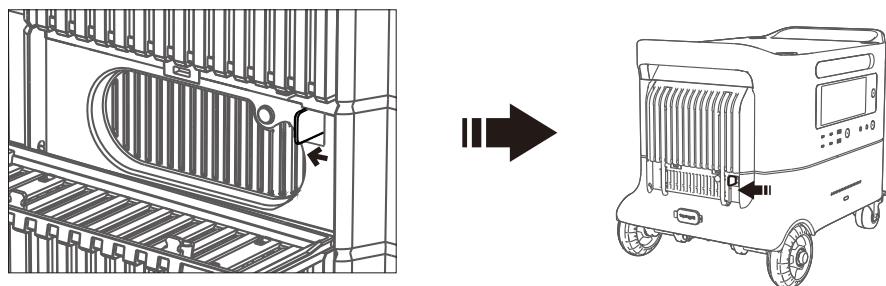
リトラクタブルハンドルの取り付け

製品にEnergyCan A2が含まれていない場合は、本手順をスキップして進んでください。

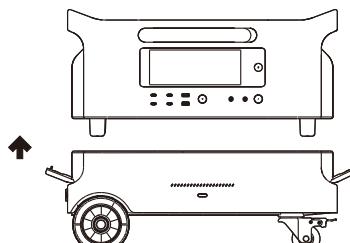
1. サイドカバーの中央を押して、1層目(メインベース2200)を除く左右のサイドカバーをすべて開きます。



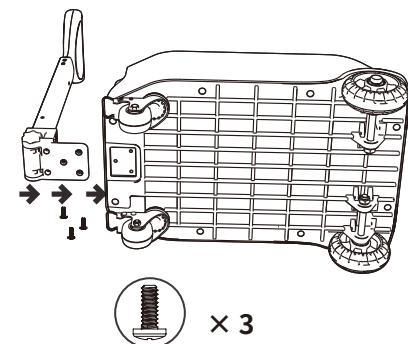
2. カチッと音がするまでラッチを左にスライドさせます。同じ方法ですべてのラッチのロックを解除します。



3. 上から下へ、一段づつ切り離します。

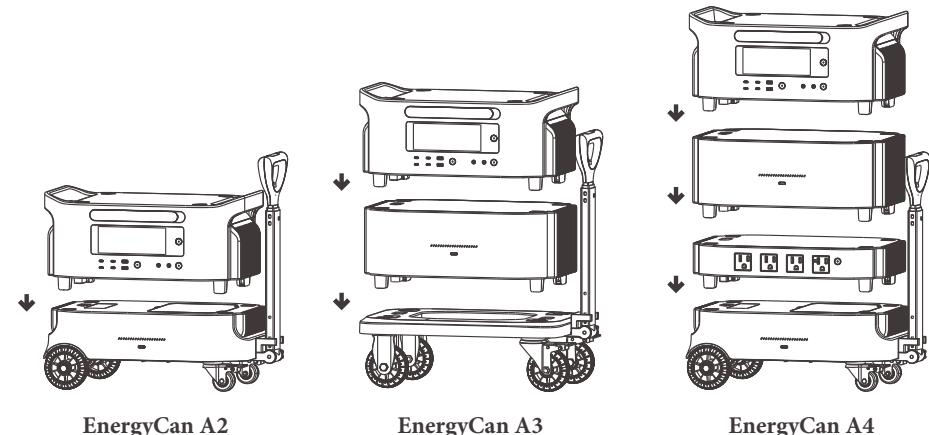


4. 最下層(Mobile Chassis 1000WH)を裏返し、底面にハンドルを付属のネジで取り付けます。



すべてのモジュールと一緒に組み立てる

すべてのモジュールを下から上へ順番に重ねます。全てのサイドカバーを「カチッ」と音がするまで閉めてください。



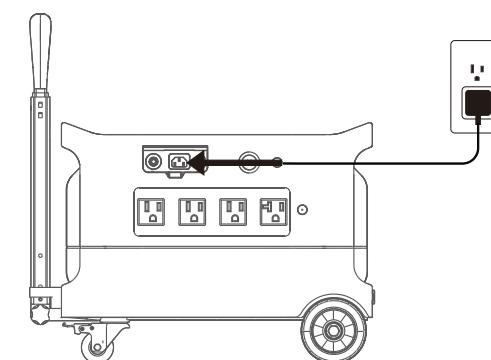
バッテリーの活性化

輸送中の安全を確保するため、工場出荷時は倉庫モードに設定されています。使用前に必ずACまたはソーラーパネルで充電し、起動させてください。より詳細な手順については、次の章をご参照ください。

バッテリーの充電

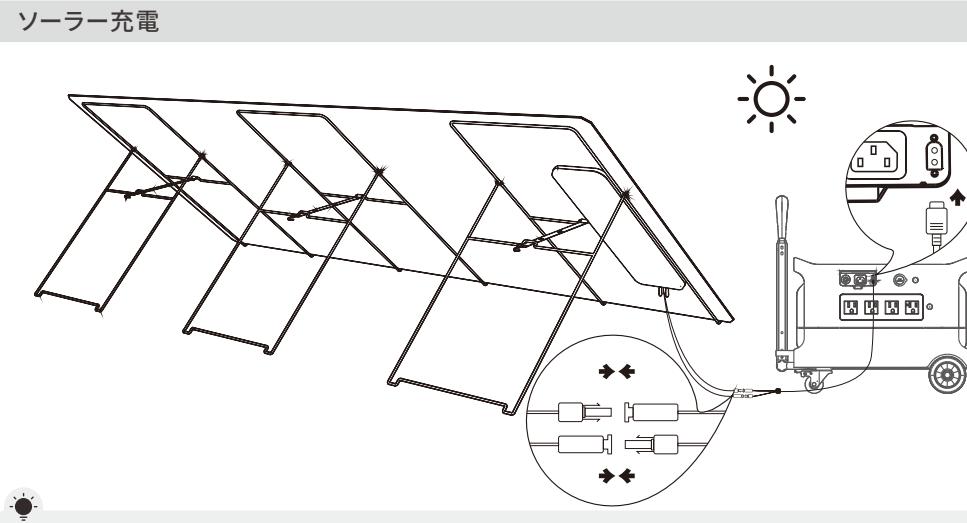
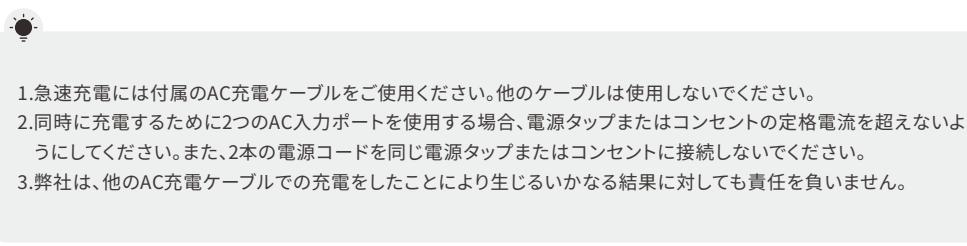
グリッド・パワー

本機の急速充電技術は、AC充電専用に設計されています。最大入力電力は送電環境によって異なります。



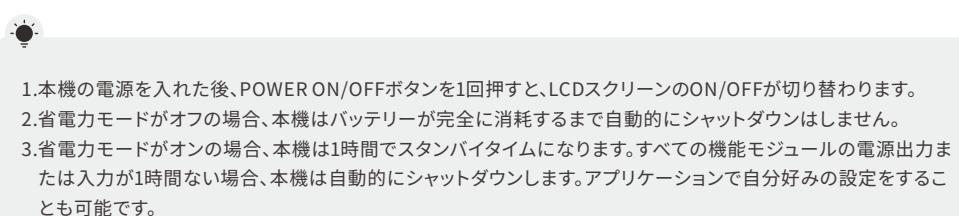
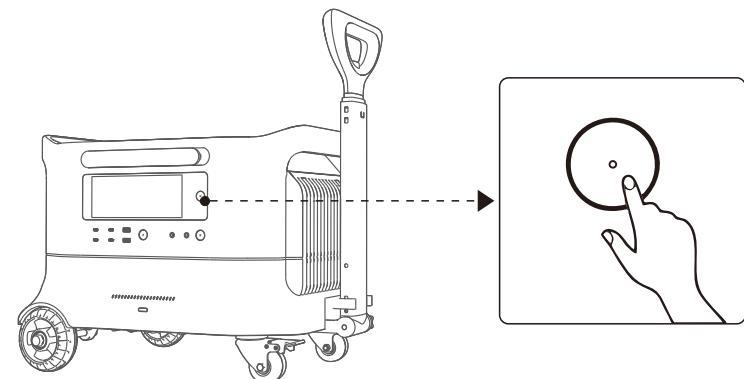
| | 最大入力電力 |
|----------------|---------------------------|
| Main Base 2200 | 1000W |
| EnergyCan A2 | 1500W |
| EnergyCan A3 | 1500W |
| EnergyCan A4 | 3000W(2つのAC入力ポートで同時に充電可能) |

AC入力電流が20Aを超えた場合、AC充電入力ポートが自己保護機能を開始し、製品上の過負荷保護スイッチが自動的にポップアップします。製品に異常がないことを確認した後、過負荷保護スイッチを押して充電を再開することができます。



電源オン／オフ

- 1.電源をオンにする際はPOWER ON/OFFボタンを2秒間長押してください。
- 2.電源をオフにする際はPOWER ON/OFFボタンを2秒間押し続けて下さい。その際、LCDスクリーンも2つのビープ音と消えます。



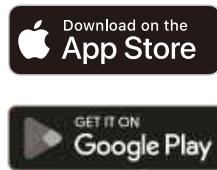
アプリでバッテリーを制御する

利用可能な機能を完全に利用するには、アプリを介してバッテリーを制御することをお勧めします。



アプリのご利用にあたっては、以下をご確認ください：

- お使いのスマートフォンがiOS 11.0(またはそれ以上)またはAndroid 5.0(またはそれ以上)であること。
- Wi-Fiルーターで2.4GHz Wi-Fi信号が有効になっていること。
- バッテリーのWi-Fiアイコンが急速に点滅していること。そうでない場合は、DC5521のON/OFFボタンを長押ししてセットアップモードにしてください。
- スマートフォンがBluetoothを有効にしていること。
- バッテリーが起動していて、セットアップのために十分な電力があること。



セットアップ:

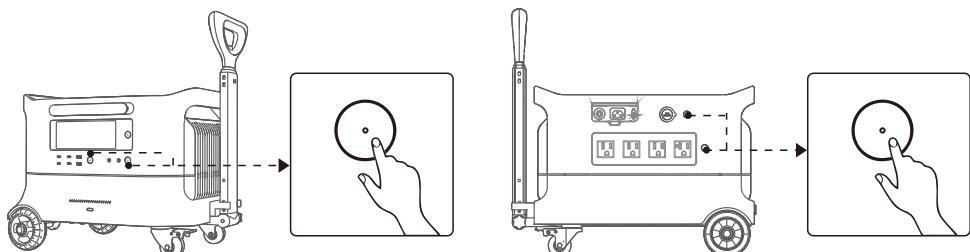
- App Store (iOSユーザー) またはGoogle Play (Androidユーザー) からアプリ(EnergyKeeper)をダウンロードします。
- アカウントをサインアップし、「デバイスを追加」またはホームページの「+」アイコンをタップします。
- バッテリーデバイスを選択し、アプリ内の指示に従ってWi-Fi接続を設定します。

Wi-FiおよびBluetoothステータス

| | | |
|--|--------|---------------------------|
| | 快速な点滅 | バッテリーはセットアップモードです |
| | ゆっくり点滅 | バッテリーはWi-Fiネットワークに接続中です |
| | 白色点灯 | すでにWi-Fiネットワークに接続されています |
| | 白色点灯 | Bluetoothでスマートフォンに接続しています |

家電製品への電力供給

ON/OFF ボタンを1回押すと、対応するDC/ACポートまたはソケットがオンになります、もう一度押すとオフになります。



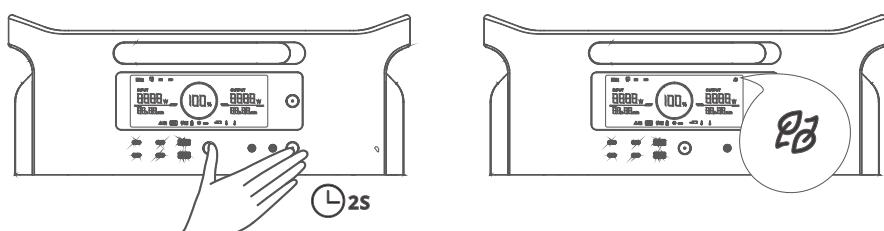
- 本機の電源が入っていることを確認してください。
- すべての負荷機器の合計電力が定格電力より低いことを確認してください。
- 省エネモードがオフの場合、電源ボタンをオンにしても、製品は自動的にオフになりません。
- 省エネモードがオンの場合、出力ポートに負荷がかからず1時間経過すると、出力モジュールは自動的にシャットダウンします。

省エネモード

省エネモードをオンにすると、すべてのデバイスの充電が完了した時点でパワーステーションの電源が自動的にオフになるため、エネルギーの無駄遣いを防ぐことができます。

省エネモードをオフにすれば、薬を保存する冷蔵庫、タイムラプス撮影、CPAPマシンの夜間使用など、長時間の安定した充電が可能です。

USB ON/OFFボタンとDC5521 ON/OFFボタンを同時に2秒間長押しすると、省エネモードのオン/オフが切り替わります。



省エネモードがオンになると、LCD画面の右上隅にある節電モードのアイコンが点灯します。本機は、以下のようないくつかの節電アクションを自動的に実行します。

LCD画面は5分間操作しないと自動的に消灯します。

出力ポートに負荷がかからない状態が1時間続くと、出力モジュールは自動的にシャットダウンします。

すべての機能モジュールの電源出力または入力が1時間ない場合、マシンは自動的にシャットダウンします。

無停電電源装置(UPS)

メインベース 2200とEnergyCanA2及びA3は UPSモード1のみ対応です。UPSモード2、3を使用する場合は、別途インバーターとバッテリーを追加購入し、EnergyCanA4として組み合わせる必要があります。

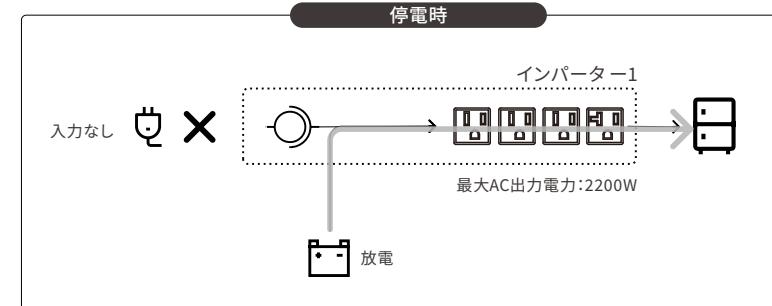
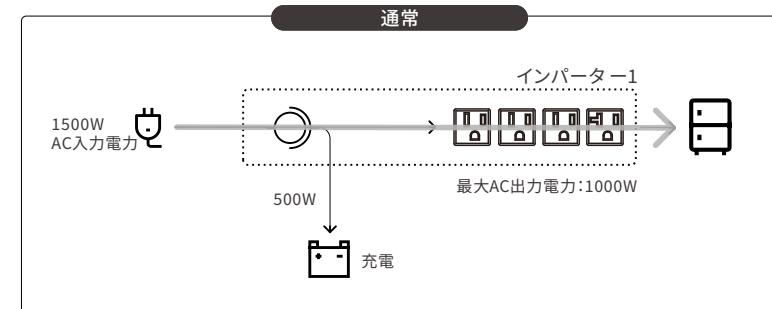
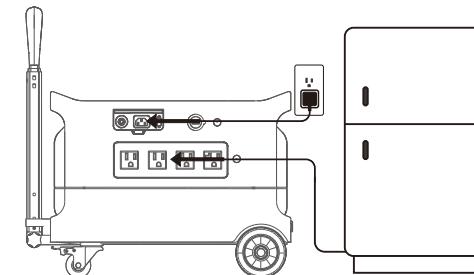
| | UPS 1 | UPS 2 | UPS 3 |
|--------------|-------------------------------|---|---|
| LCD ディスプレイ表示 | UPS 1 | UPS 2 | UPS 3 |
| 推奨家電製品 | 冷蔵庫、テレビ、モデム、Wi-Fiルーター、ゲーム機など。 | 業務用サーバ・コンピュータ、ネットワーク・アタッチド・ストレージ(NAS)合計定格電力は1000Wから2200Wまでの電気製品 | 合計定格電力が2200Wを超えた複数の電気製品 |
| メインベース 2200 | √ | × | × |
| サトリ・プロ 2200 | √ | × | × |
| サトリ・プロ 3300 | √ | × | × |
| サトリ・プロ 4400 | √ | √ | √ |
| インバーターの要件 | 1台以上のインバーター | 2台以上のインバーター | 2台以上のインバーター |
| 最大AC入力電力 | 500W | 1500W | 500W |
| 最大AC出力電力 | 1000W | 2200W | 入力出力同時使用インバーター: 1000W 出力のみのインバーター: 2200W |
| スイッチング遅延 | 20ms以内 | 0 ms | 入力出力同時使用インバーター:<20 ms 出力のみのインバーター: 0 ms |
| 騒音レベル | 低い | 高い | 高い |
| インバーター電源喪失 | 低い | 高い | 高い |

UPS 1

AC 充電ケーブルでAC入力ポートに接続し、電気機器を同じインバーターのAC出力ポートに接続します。この場合、AC電源はバッテリーからではなく、系統から供給されます。突然の停電が発生しても、EnergyCan は 20ms 以内に自動的にバッテリー電源に切り替わります。



基本的なUPS機能として、この機能は0msスイッチングをサポートしていません。業務用サーバやワークステーションなど、0msのUPSを必要とする機器には、本製品を接続しないでください。このモードは、冷蔵庫、テレビ、モデム、Wi-Fiルーター、ゲーム機など、スイッチング時間が厳しくないデバイスへの給電に適しています。

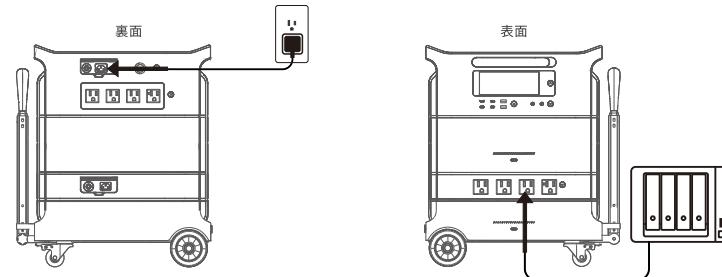


UPS 2

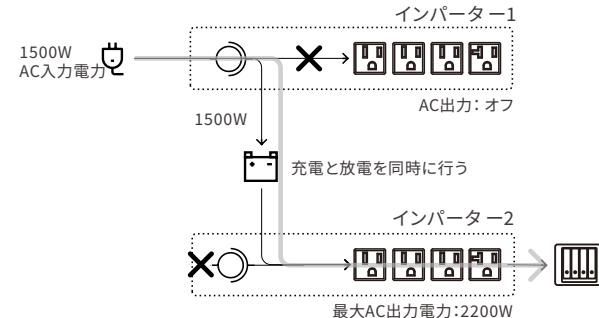
AC充電ケーブルで最初のAC入力ポートに接続し、電気機器を2台目のインバーターのAC出力ポートに接続します。この場合、電源は常にバッテリーから供給されます。突然の停電が発生しても、0msスイッチングで機器が切断されることはありません。このモードEnergyCanの2台のインバーターが常に動作しているため、ノイズの発生が多くなります。



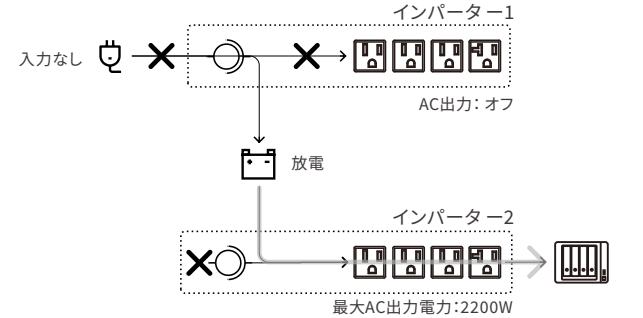
このモードは、コンピュータ、ネットワーク・アタッチド・ストレージ(NAS)、または合計定格電力が1000W～2200Wの複数のデバイスなど、スイッチング時間の要求が厳しい電源デバイスに適しています。正式なご使用の前に、必ず動作確認をしてください。使用上の注意に従わなかったことによる機器の故障やデータの損失については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



通常



停電時

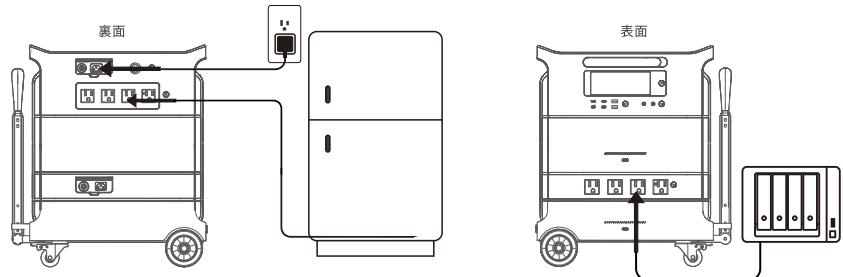


UPS 3

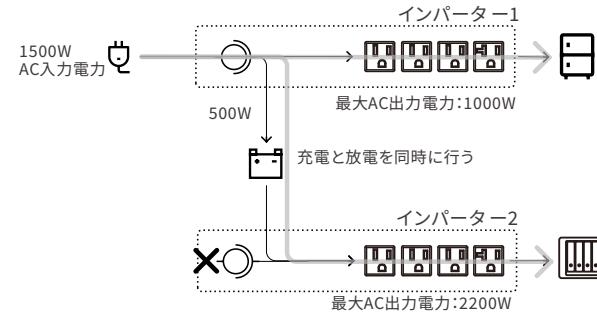
AC充電ケーブルで一つのAC入力ポートに接続し、複数の電気機器を2台あるいは複数のインバーターの出力ポートに接続します。この場合、電力入力のインバーター1に接続された機器はバッテリーからではなくグリッドからAC電源が供給され、インバーター2に接続された機器は常にバッテリーから電源が供給されます。突然の停電の場合、インバーター2に接続された危機は0msスイッチングで切断されることはありません。



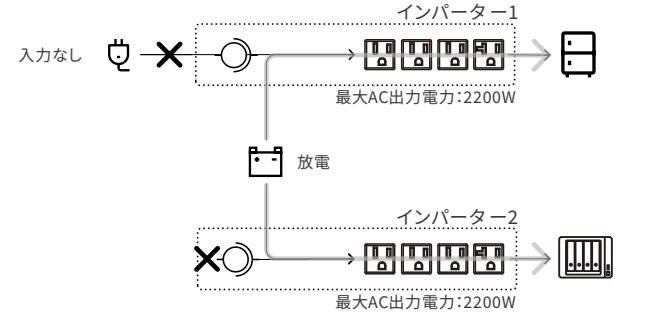
このモードは、合計定格電力が2200Wを超える複数の電化製品に適しています。正式なご使用の前に、必ず適合性の確認をされることをお勧めします。使用上の注意に従わなかったために生じた機器の故障やデータの損失については、当社は一切の責任を負いかねます。



通常



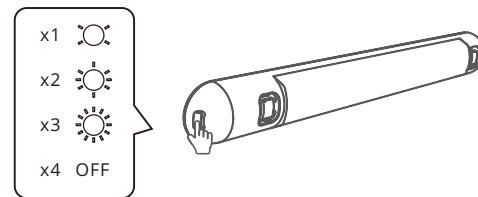
停電時



ライトバー

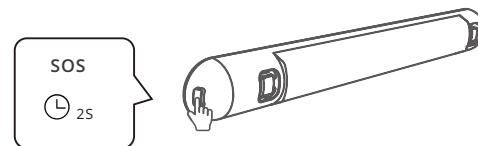
アンピエントライト

ボタンを1回押すとアンピエントライトが点灯し、もう一度押すと明るさが切り替わります。



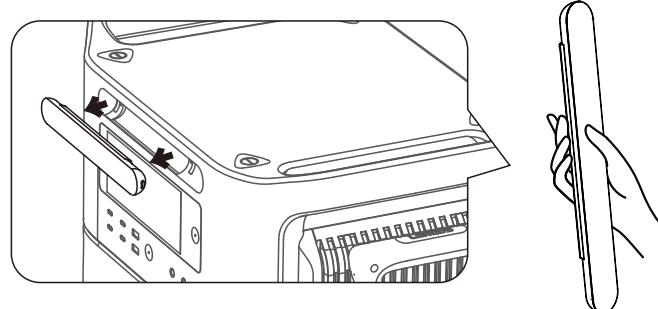
SOSモード

ボタンを2秒間長押しするとSOSモードになります。ボタンを1回押すとSOSモードがオフになります。



着脱式

ライトバーは背面のマグネットでマシンに取り付けられています。個別に使用する場合は、指でライトバーを取り外してください。マシンに戻すと、自動的に充電が始まります。



よくあるご質問(Q&A)

1. 充電と放電は同時にできますか？

はい、本機はパススルー充電に対応しています。

2. 本機が正しく充電されているかどうかを確認したい？

本機が充電されていると、バッテリー残量インジケータが回転し、バッテリーのパーセンテージが上がり、LCDスクリーンに残りの充電時間が表示されます。

3. どのような機器に電源を供給できますか？

各AC出力ポートは、2200W未満の電力で動作する機器を充電できます。EnergyCanはUPSとして使用できますか？メインベース2200とEnergyCan A2はUPS1モードのみ対応です、UPS2、3モードを使用する場合は、別途インバーターとバッテリーを追加購入し、EnergyCan A4として組み合わせる必要があります。詳しくは「無停電電源装置(UPS)」をご確認ください。

4. EnergyCanに何も接続していないのにバッテリーが消耗するのはなぜですか？

LCD画面の点灯と出力モジュールの起動は、電化製品が接続されていない状態でも電力を消費します。一般的に、EnergyCanが電源オンの状態で、すべての機能モジュールがクローズドモードの場合、1日平均120Whの電力を消費すると推定されます(EnergyCan A2の場合、約6%、EnergyCan A4の場合、約3%)。すべての機能モジュールをオンにした場合、1日の推定消費電力はEnergyCan A2では約800Wh、EnergyCan A4では約1200Whと高くなります。これを軽減するには、省エネモードを有効にするか、使用していない出力モジュールを非アクティブにするか、使用していないときは手動で電源をオフにします。これにより、ユニット内の異なるモジュール間の通信に使用される電力は最小限に抑えられます。

6. 本機で使用できるソーラーパネルの種類は？

XT-60ソケットを備えた50フィート以上の発電が可能な11-60Vソーラーパネルであれば、どのようなものでも使用可能です。

本機の充電には、より良いパフォーマンスと使い心地のために、LIBRIDSの公式ソーラーパネルを使用することをお勧めします。

7. 予備のファンや予備のケーブルなどのアクセサリーはどうすれば入手できますか？

本機の追加ファン、ケーブル、その他のアクセサリーは、LIBRIDの公式サイトをご購入いただくことが可能です。

8. 残充電時間と残使用可能時間が変動するのはなぜですか？

本機は接続された負荷に基づいて、残りの使用可能時間を計算します。接続負荷が増減すると、それに応じて残り使用可能時間も変化します。また、負荷によっては消費電力が変動する場合があり、その場合も変動することがあります。また、充電中の入力電流の変化やソーラーパネルが受ける日射量の変化により、残りの充電時間が変動することもある。

9. バッテリーの充電に時間がかかるのはなぜですか？

バッテリー残量が少ない場合、通常最大出力で充電します。そのうちバッテリー残量が増えると、充電電圧とバッテリー電圧の差が小さくなり、充電スピードも徐々に低下していきます。それはバッテリーを守るためにです。通常、バッテリー残量が80%を超えると充電スピードは徐々に低下していきます。

10. デバイスを工場出荷時の設定にリセットする方法を教えてください。

電源ON/OFFボタンを15秒間押し続けます。ビープ音が3回連続したら、本機は正常にリセットされています。

11. 破損した部品を自分で交換できますか？

安全のため、製品の部品を交換することはお勧めしません。

12. 長い間使わていなかったバッテリが動かなくなるのはなぜですか？

バッテリーを低容量で長時間保管すると、リチウム電池は電力を自己消費し、電力を使い切ることはあります。その結果、導電性が低下し、電池寿命が短くなり、電池が動作しなくなることがあります。

13. バッテリーの保管やメンテナンスはどうすればよいですか？

本機を保管する際は、以下のことを確認してください。

- 1)すべての出力をオフにしてください。
- 2)本機を湿気の少ない涼しい環境に保管してください。
- 3)定期的(週に1回程度)にバッテリーの残量をチェックしてください。バッテリー残量が30%以下になったら、本機をフル充電してください。3ヶ月に一度は100%まで充電することをお忘れなく。

保管とメンテナンス

1. 本製品は、水源、熱源、金属から離れた場所に保管してください。

2. バッテリーの寿命を延ばすため、本製品は20°C～30°Cの環境での使用、保管をお勧めします。

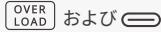
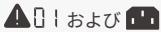
3. 長期保管の場合は、3ヶ月ごとに充放電サイクルを行うことをお勧めします(最初に0%まで放電し、その後フル充電し、長期保管の場合は60%まで放電します)。6ヶ月以上充放電を行わなかった製品は保証対象外となります。

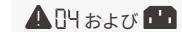
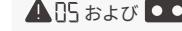
4. 安全のため、本機を45°Cを超える環境または0°C以下の環境での保管は避けてください。

5. 製品のバッテリー残量が極端に少なくなり、アイドル状態が長時間続くと、製品はディープスリープモードに入ります。
再び起動して使用するには、使用前に製品を充電する必要があります。

トラブルシューティング

| LCDインジケーター | 例外の説明 | ソリューション |
|---|------------|--|
|  アイコン点滅 | チャイルドロック保護 | 電源ON/OFFボタンとDC5521スイッチボタンを同時に2秒間長押しすると、チャイルドロックが解除されます。 |
|  高温層のアイコンとステータスLED点滅 | 高温保護 | <p>1.多くのデバイスや高出力デバイスを使用している場合は、デバイスの数を減らすか、高出力デバイスの使用を一時停止してください。</p> <p>2.高出力で充電中の場合は、低出力に切り替えるか、充電を停止してください。</p> <p>高温インジケーターの異常トリガーが停止したら、該当モジュールを手動で再起動できます。</p> <p>補助バッテリーモジュールには、LIBRID公式ファンの装着を推奨。</p> |
|  低温層のアイコンとステータスLED点滅 | 低温保護 | <p>1.本機を暖かい場所に置いて使用してください。</p> <p>2.低温のため電源が切れた場合は、30分以上10°C以下にならない場所に移動し、再度電源を入れてください。</p> <p>本機を低温の場所で使用する場合は、バッテリーパックが適切な温度で動作するよう、LIBRID公式のヒーティングパッドを取り付けることをお勧めします。</p> |
|  オーバー クロス および  アイコン点滅 | AC出力過負荷保護 | <p>1.ACコンセントに接続されている各電気器具の電力が定格電力を超えていないことを確認し、超えている場合は電気器具を外す。</p> <p>2.各レベルのACコンセントの合計出力が定格電力を超えていないことを確認し、超えている場合は一部の機器を取り外してください。</p> <p>3.ショートしている機器がないことを確認し、ショートしている機器がある場合は、該当機器を取り外します。</p> <p>これらの問題が解決したら、AC出力スイッチを押してACモジュールを再起動します。</p> <p>*バッテリーの割合が20%以下になると、最大出力は50%に低下します。メインベース2200を単独で使用する場合、最大出力は500Wとなります。両方のレイヤーをコンボとして使用する場合、最大出力は1000Wとなります。</p> |

| LCDインジケーター | 例外の説明 | ソリューション |
|--|----------------|---|
|  および  | XT60 出力過負荷保護 | <p>1.XT60に接続されている機器が12V 30Aを超えないことを確認し、超える場合は接続を外します。</p> <p>2.バッテリーを充電する場合、12V 10Aと24V 10Aの充電にのみ対応しています。</p> <p>XT60ポートに接続されている電気機器を取り外し、本機を再起動します。</p> <p>Xt60の出力から電気自動車を充電することは推奨されない。</p> |
|  および  | カーソケット出力過負荷保護 | 最大12V 10Aのデバイスをサポートします。カーソケット出力ポートに接続されている電気機器を取り外し、カーソケット出力ON/OFFボタンを短く押すと、モジュールが再起動します。 |
|  および  | DC5521 出力過負荷保護 | 最大12V 3Aの機器をサポートします。ポートに接続された電気機器を取り外し、DC5521出力のON/OFFボタンを短く押すと、モジュールが再起動します。 |
|  および  | USB出力過負荷保護 | 最大100Wのデバイスに対応。ポートに接続された過負荷デバイスを取り外し、USB出力のON/OFFボタンを短く押すとモジュールが再起動します。 |
|  および  | 過度のAC充電電圧保護 | <p>1.AC入力電圧が最大電圧制限(日本では最大135V)を超えていないことを確認してください。</p> <p>2.最大電圧の制限を超えた場合は、適切なコンバーターを接続してから充電してください。</p> <p>3.上記の問題が解決した後、AC充電ケーブルを再接続し、AC充電を再開してください。</p> |
|  および  | 低AC充電電圧保護 | <p>1.AC電圧が制限値(日本では80V)以下でないことを確認してください。</p> <p>2.最低電圧が制限値を下回る場合は、充電前に適切なコンバーターを接続してください。</p> <p>3.上記の問題が解決された後、AC充電ケーブルを再接続し、AC充電を再開してください。</p> |
|  および  | 過度のAC充電電流保護 | <p>1.本機に接続されているすべての電気器具を取り外します。</p> <p>2.本体背面の過負荷保護ボタンを押し、AC充電器のケーブルを再度差し込んでください。</p> <p>3.正常に充電されている場合は、通常通りご使用ください。正常に充電されていない場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。</p> |

| LCDインジケーター | 例外の説明 | ソリューション |
|---|----------------------------------|--|
|  および  | 過大AC出力電圧保護 | <p>1.本機に接続されているすべての機器の接続を外します。</p> <p>2.AC モジュールのスイッチを押して、ユニットを再起動します。</p> |
|  および  | 低XT60充電電圧保護 | <p>1.入力電圧が10V以上、電力が50W以上であることを確認する。例えば、ソーラーパネルに十分な日照があることを確認する。</p> <p>2.入力ケーブルの断線やショートがないか確認し、必要に応じて交換する。</p> <p>3.上記の問題が解決された後、XT60ケーブルを再接続し、XT60を再起動して充電してください。</p> |
|  および  | 過度のXT60充電電圧保護 | <p>1.XT60の入力電圧が100Vを超えないようにしてください。</p> <p>2.その場合は、直列に接続するソーラーパネルの数を減らすなどして、XT60の入力電圧を下げます。</p> <p>3.XT60のケーブルを再接続し、異常が修正された後、XT60の充電を再開してください。</p> |
|  および  | XT60の充電電圧が高すぎる | 入力電圧が高すぎ、MPPTモジュールが損傷している。カスタマーサービスに直接連絡することをお勧めします。 |
|  および  | 2台のインバーターは密接に接続されている | 2台のインバーターを直接接続しないでください。 インバーター1>バッテリー1(最低1個)>インバーター2>バッテリー2(最低1個)...のように設定してください。 |
|  および  | 5kWh以上のバッテリーパックをモバイルシャーシの上に積み重ねる | モバイルシャーシに5kWhを超えるバッテリーパックを積み重ねないようにしてください。余分なバッテリーパックがある場合はバッテリーケーブルを使用して、モバイルシャーシの後に接続してください。 |
|  内部通信エラー | 内部通信エラー | 本体を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。 |
|  デバイス破損 | デバイス破損 | デバイスが破損している。機器を分解しないでください。機器の電源を切り、カスタマーサービスまでご連絡ください。 |